

一生青春、一生勉強「木曜午餐会」

101周年の新年祝賀会も“学びあう喜び”でスタート

01/26/2019

ハワイの日系団体の中で、最も長い歴史のある勉強会が木曜午餐会だ。創立は1918年（大正7年）で、当時の在ホノルル日本国総領事の諸井六郎氏が呼びかけ発足した。

「理想は高く、姿勢は低く、いつも心に太陽を持って、一生青春、一生勉強。今を自分らしく輝き、新しい自分を始めよう」という目標を掲げ、「青春とは若き肉体の中にあるのではなく、若き精神の中にある」と、高齢であっても、リタイアしても Young at Heart であれば現役の青春なのだと謳い励まし、高め合ってきた。

1月10日に催された、毎年恒例のアラモアナホテルに於ける新年祝賀会もお勉強モード全開！ 午餐会の会長である新名瑛（しんみょうあきら）氏の冒頭挨拶も、「2019年は波乱万丈、混迷の時代です。だからこそ、自分で考えることが大事なのです」と、リーダー不在の世界情勢を喝破。

新年の学び初めとなる伊藤康一総領事のメッセージは、挨拶を超える50分の長尺で、大学の一講義分！ それでも会員の皆さんは熱心に拝聴し、時に笑い拍手をしながら、学びあう喜びをシェアしあっていた。

会員の皆さん、来賓の皆さんの「一生青春、一生勉強、2019年の抱負」を聞いてきました。

（取材・文 奥山夏実）





混迷の時代だからこそ、自分で考えよう

新名 瑛 午餐会会長

2019 年は波乱万丈の年になりそうです。アメリカのトランプはやりたい放題、ロシアのプーチンはクリミア併合も北方領土返還も強行姿勢を崩さず、フランスのマクロン大統領は国内デモすら抑えられないし、ドイツはメルケル首相引退で EU はますます暗雲が立ち込めています。一体誰が世界の指導者なのか？ 日本の安全保障は

どうなるのか、食料の自給率はこれでいいのか？ 混迷の時代が加速しようとしています。

しかしそれは逆に、良いチャンスでもあります。自分の住む国のことをより深く考えることができるからです。日本人は寄らば大樹の陰で、戦後ずっと過ごしてきました。世間が決めたこと、テレビや新聞などマスコミが伝えることに右往左往してきました。 ですが今こそ、自分で考えてみましょう。私自身、自分で考え自分で行動する一年にしようと決意を新たにしております。木曜午餐会の学びが、自分で考えることの一助になることを願っています。





日本語を学ぶ人がアメリカー多い ハワイで、 さらなる文化交流を

伊藤 康一 総領事

昨年は日系移民 150 周年の節目の年で、私自身、日系移民の歴史を学ぶ機会に恵まれました。

150 年前の 1868 年 6 月、初めての日本人移民が 150 余人、横浜からハワイに出航したわけですが、これはヴァン・リードという雇われハワイ国領事の、かなり荒っぽい見切り出航だった

ようです。当時は幕末維新の混乱期で、新しく変革した明治政府は移民に難色を示していた。移民したのは、脱藩浪士や家を継ぐことのない次男坊や、放蕩者もいたんでしょうね。ハワイがどこかもわからなかったけど、一花咲かせたい一心で応募したようです。

移民を募った理由は、ハワイの一大産業であったサトウキビ畑の労働者の不足です。ネイティブなハワイアンたちは、西洋人が持ち込んだ疫病で多くの人が次々と死んでしまっていた。ハワイ王朝は中国と接触し、広東省から年季奉公の移民を入れたりしていましたが、中国人はサトウキビ農夫よりも小商いなどが得意で、働き手が依然不足していた。

それで、日本に滞在経験のあるヴァン・リードに移民の依頼をしたそうです。ところが日系移民も、農業の経験が乏しい者が大半で、炎天下で一日 10 時間以上の重労働に悲鳴をあげた。英語も皆目分からないし、日本食もない。

そんな状況を放っておくことはできないと、明治政府はハワイに使節団を送り、賃金条件を取り決め、3 年間の年季労働の取り決めをしたのです。使節団というのは外務省の私の大先輩に当たるわけです。

正式に日本国総領事館ができたのは 1886 年で、世界にある総領事館の中で最も古いものの一つです。今も又アヌの同じ場所にあり、ホノルルの移民波止場から一直線に来れる場所です。また当時の日系人には苗字がなかったので、名前を登録する際に、徳次郎さんは徳に起源を持つ Toko を、国造さんは Kuni をファーストネームにしたそうです。今でもトコさんやクニさんという名のローカルの方が実際におられるそうです。新年は 2 月 24 日までビショップ博物館で、日系移民 150 周年の特別展示をしています。豊富な資料をていねいに編集して展示していますので、ぜひご覧ください。150 年前の写真もあるので興味深いです。

ハワイは今、日系3世4世の時代で日本語を話せない人も多く、どうしたら日本的な文化を引き継いでいけばいいのか、私たちも模索しています。反面、ハワイでは日本人の血を引かない人々の多くも、日本語を勉強してくれています。ですから日本への関心は非常に高い。

今年はハワイで52年ぶりとなる、歌舞伎公演が開催されます。中村芝翫（しかん）さんと子息3人、歌舞伎界初の親子4人揃っての襲名披露公演です。長唄の人間国宝である鳥羽屋里長（とばやりちよう）さんと、『2019 ホノルル歌舞伎』実行委員長の鳥羽屋三右衛門（さんえもん）さんの親子共演もあり、大変豪華で楽しみな興行です。

世界が待ち望む日本の伝統芸能の歌舞伎は、2017年日中国交正常化を祝う北京公演、2018年文化交流100周年を祝うパリ公演、そして2019年のハワイ公演と続いています。北京、パリ、ホノルル、ホノルルは世界三大都市の仲間入りです（笑）！公演は3月2日からですので、ぜひともお越しください。

また2020年東京オリンピックでは、サーフィンが初めてオリンピック競技として行われます。サーフィンのメッカであるハワイで、なにかオリンピックつながりのあるイベントを開催することはできないのか、良いアイデアが出るのを期待しています。日本とハワイの文化、スポーツを総領事館としてもっと応援できる一年にしたいと思います。

ハワイで52年、今年90歳です

おしゃれ大好き、シャネルで働いておりました

浜井 万亀子 午餐会メンバー

現在の午餐会で7人目となる90歳、長寿のお祝いをされた万亀子（まきこ）さん。なんておめでたいお名前！「本名ですよ（笑）、福岡出身ですが同名の人には会ったことがないですね。午餐会には毎週出席しています。2年前まで自分で運転して来ていたけれど、最近は娘に送り迎えしてもらっています。歴史とか健康がテーマのお話しは面白いですね」シルクカシミアのファッション、とってもおしゃれさんですね！「ありがとう、ホノルルのシャネルで10年ほど働いておりました。おしゃれしてメイクして外出すると、若々しい気持ちになります」



さまざまな人と出会い、傾聴する中で学ばせていただいています

伊藤 美砂子 総領事夫人

私は日本にいました時には心理学のカウンセラーをしておりました。ですから人の話を聞くのが好きで大切にしております。夫の赴任先では本当に多くの人にお会いする機会に恵まれ、お話を伺う中でさまざまなことを学ばせていただいています。一昨年ハワイに赴任してきまして、たちまちハワイが好きになりました。年末には1歳の初孫もハワイに遊びに来まして、ハワイで初めて歩けるようになりました。私も「一生青春、一生勉強」の心で歩いていきたいと願っています。



90歳、今でもハワイ大学で研究を 午餐会の学びは、心の栄養です

柳町 隆造 ハワイ大学と木曜午餐会の名誉教授



哺乳類の受精過程について明らかにすることで、体外受精など不妊治療の医療に多大な貢献をしている理学博士。また哺乳類におけるクローン動物作製においてもその先駆者の一人だ。1997年、世界初のクローンマウスを作製することに成功し、開発地のハワイ大学マノア校にちなみ、その方法は「ホノルルテクニック」と呼ばれている。木曜午餐会でも、何度も講師を務めている。「昔はね、ヌアヌのYMCAでランチを食べながら学んでいたんですよ。だから午餐会と言ったの。今日は食事付きだから正真正銘の午餐会ですね（笑）。ただ、人間は食べ物だけでは生きて

はいけませんよ。心の食べ物が必要です。午餐会は心の栄養源なんです」

今年も神の栄光を楽しみます

藤波 義孝 マキキ聖城キリスト教会牧師

午餐会に学び舎を提供してくれているマキキ聖城キリスト教会。

藤波牧師は午餐会の講師としても度々ご奉仕。

今日は学びの会だから大学の名前入りポロシャツ姿ですか？

「いえ、息子がイリノイ工科大学の建築学科に進みまして、そのポロシャツです（笑）」先生にとっての今年一年は？「クリスチャンとして神をよく知り、神の栄光を楽しむことです」



ワンテンポ、ペースダウンしてゆっくりじっくり過ごす年に



齋藤 譲一 ハワイ山形県人会会長

（社）日本スポーツ吹矢協会ハワイ総支部長も務める齋藤さん。去年はハワイ山形県人会創立 50 周年のお祝い行事など多忙な日々だったとか。

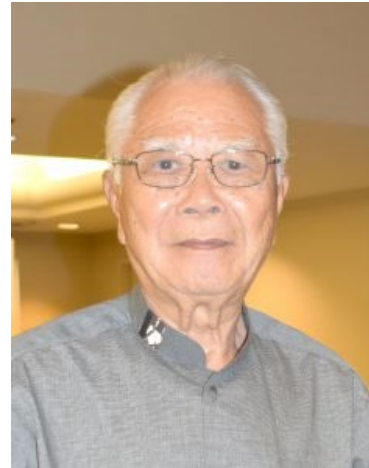
「今年は何男の 83 歳ですよ。だから少しペースダウンしてね、ゆっくりじっくり過ごすつもりです。終活でしたっけ、身辺整理もしようかと思っています」

でもハワイ吹矢協会として、3月26日に日米交流大会の開催があるそうで、当分忙しさは続きそうな気配。「5回目なんです。日本から吹矢愛好家に来て、ハワイで交流大会をします。前回大会は日本から60人ものエントリーがありました。吹矢は腹式呼吸で、健康増進にも役立ちます。楽しいゲームでもありますので、今年は新規のメンバーも募りたいです」

今年も神さまに生かされて、平和を祈ります

上原 進助 ハワイ・イエス之御霊教会牧師

午餐会最古参の一人、上原さんは当時 12 歳で体験した沖縄戦を語り続けるレガシーでもある。「沖縄戦が激しくなり、読谷村の洞窟に逃げ込みました。何日目だったか、洞窟の入り口でアメリカ人が「戦争は終わる、食べ物もあります、出てきなさい」と日本語で叫んでいました。洞窟の中では看護婦だと名乗る女性が、「毒薬を手に入れたから、欲しい人は一列に並んで」と呼び掛けてきた。数が限られた毒薬欲しさに、人々は列をなし 12 歳の私も並びました。天皇陛下のために、自決を潔しとする教育がなされていたからね。どうか私にも回ってくるようにと祈っていた。しかし私の番の直前で毒薬は切れ、もらえませんでした。人生は、自分が願うこととは違う方向に進んだ方がいい場合もあるんです」そして力強く、「今年も平和を祈ります」



ハワイで薪能をするのが今年目標です



角当 行雄 観世流梅若能楽師

午餐会の新年祝賀会でもお能のハイライトである“前囃子”を地唄とともに舞ってくれた角当（かくとう）さん。

「唄とお囃子と舞が融合して昇華した幽玄の世界が能です。600 年の伝統があり、2008 年には世界無形文化財にも認定されました。日本独自のオペラのようにして、能舞台は本来、屋外のオープンエアに設けられます。今年はぜひ、ハワイ公演を実現いたしたく、午餐会の方々へも応援をお願いしました」

木曜午餐会、会員になりませんか！！ どなたでも会員になれます。

毎週木曜日 午後 12 時 30～1 時 30 分まで

マキキ聖城キリスト教会（教育棟 110 号室） 829Pensacola St

【年会費】 \$20

【問合せ・申込み】 341-3547（新名まで）

【ブログ】 <http://mokuyogosankai.blogspot.com/mokuyogosankai>

（日刊サン 2019.01.26）

1

日刊サン 2019・01・26 記事

**一生青春、一生勉強「木曜午餐会」101周年の新年祝賀会も
“学びあう歓び”でスタートより**